

# 経済・金融 フラッシュ

## 9月マネー関連:

当座預金残高が2年7ヶ月ぶりの前年比プラスに

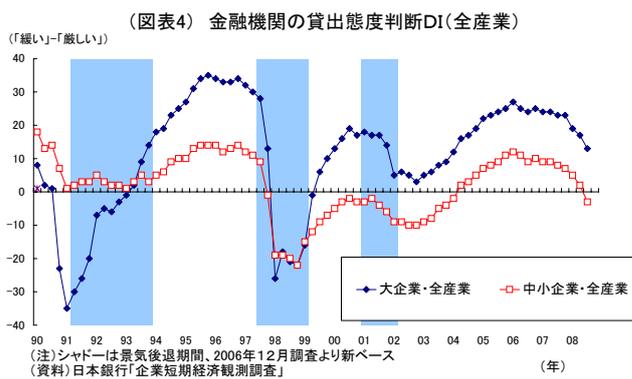
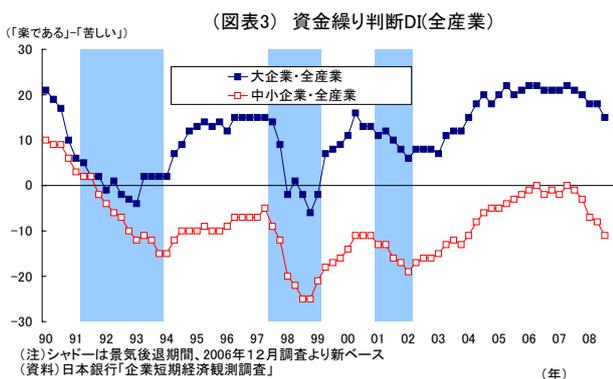
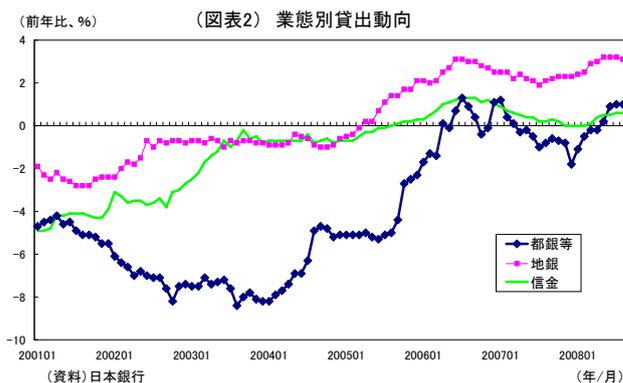
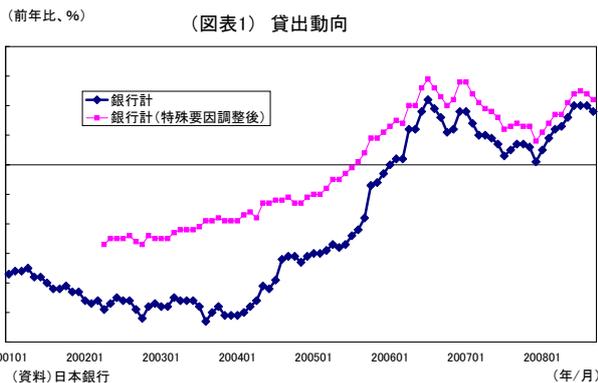
経済調査部門 主任研究員 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail: yyajima@nli-research.co.jp

### 1. 貸出動向: 9ヶ月ぶりに伸び率鈍化

貸出・資金吸収動向等によると、9月の総貸出(平残、銀行・信金計)は前年比1.6%(32カ月連続のプラス)と9ヶ月ぶりに伸びが鈍化した(図表1,2)。

短観(9月調査)でも明らかのように中小企業を中心に企業の資金繰りが厳しくなっている(図表3)。金融機関の融資姿勢も厳格化してきており(図表4)、先行き貸出は減速が見込まれる。

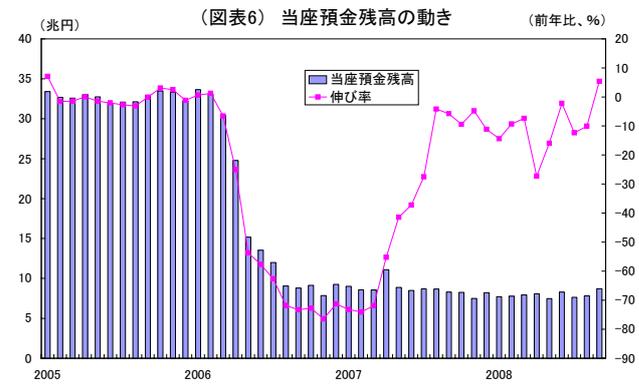
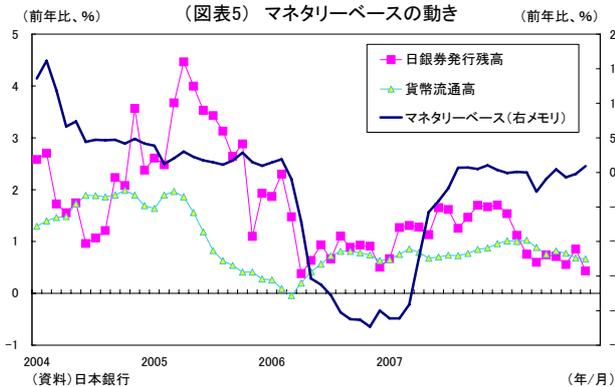


### 2. マネタリーベース: 当座預金残高が2年7ヶ月ぶりの前年比プラスに

9月のマネタリーベースは、前年同期比0.9%増と、3カ月ぶりに増加した(図表5)。

日銀券の発行残高は同0.4%増。国内景気の低迷で資金需要が減り、伸び率は今年3月以降、1%未満にとどまっている。

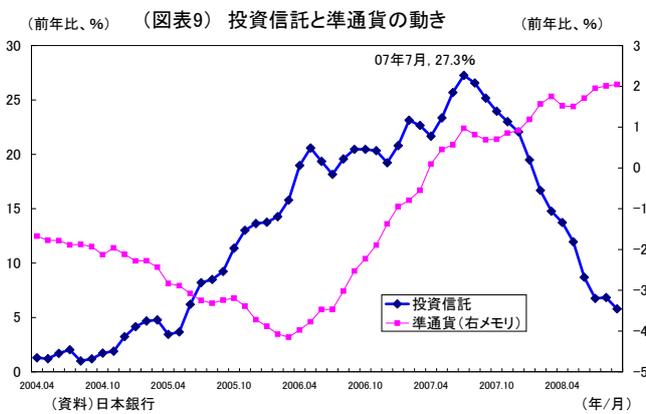
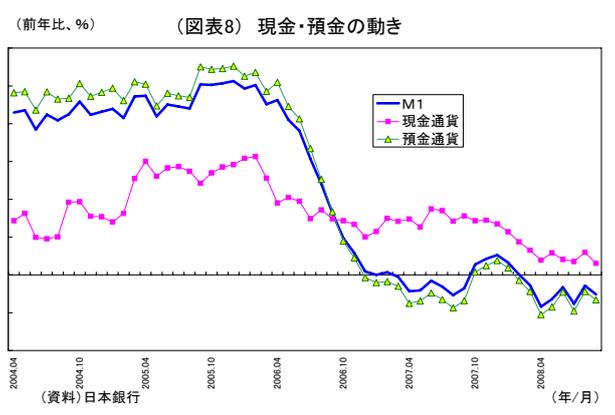
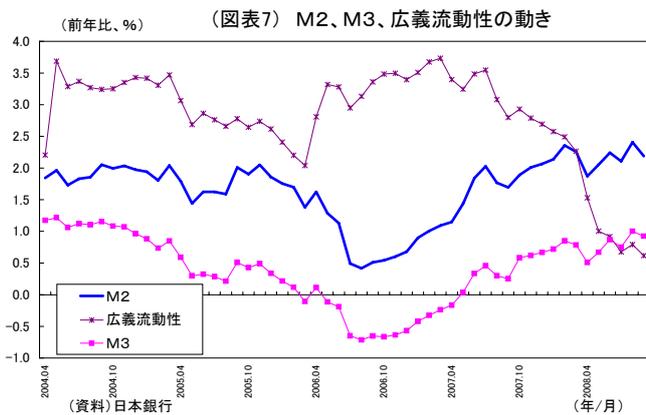
日銀は金融市場の混乱で大規模資金供給を行っている。この影響で9月日銀当座預金残高の前年同期比はプラス5.4%と06年2月の以来、2年7カ月ぶりのプラスに転じている(図表6)。



### 3. マネーストック: M2は2%台前半の推移が続く

M2 (現金、国内銀行などの預金)、M3 (M2にゆうちょ銀などすべての預金取扱金融機関の預貯金を含めた)、広義流動性とも先月から伸び率が低下した(図表7, 8)。

投信の伸び率が4ヶ月連続で一ケタ台の伸びにとどまっている。定期預金などの準通貨の伸びは続いており、リスク回避・安全資産へのシフトは継続している(図表9)。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。